

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	07	144270	環境学習推進事業	
総合計画	分野 暮らし					
	政策	2-1 環境の保全				
	施策	2 自然環境の保全				
目的	環境に対する意識啓発					
対象	環境について学ぶ市民、市内小学生					
意図	自然環境を守ることや環境に対する市民の意識の高揚を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○環境マスターの派遣 155千円 花巻市環境マスターを委嘱（環境保全、緑化推進、廃棄物減量、自然環境の4分野）し、市民が自主的に行う環境学習会に講師として派遣 ○環境学習講座の実施 28千円 市民に環境について学んだり自然に触れあったりする機会を提供するため市が開催 ○環境教育の実施 203千円 水生生物調査の実施や環境学習用の教材提供（検査試薬、環境学習チャレンジブック） ○自然生物保護 20千円 ゼンタナゴ保護活動に対する支援						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○ 補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	環境マスター派遣回数	回	計画	33	33	
			実績	23	30	
②	環境学習チャレンジブック配布	部	計画	500	500	
			実績	160	333	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	環境マスターを派遣した研修会等に参加した市民	人	目標	880	880	
			実績	821	1,057	
②	自然環境を守る行動を行った市民の割合（まちづくり市民アンケート結果）	%	目標	69.0	71.0	
			実績	73.4	71.8	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	○ 目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
環境マスター制度について、前年に引き続き小中学校や学童クラブ、コミュニティ会議への周知を行ったことにより利用者数が増加し、目標値を達成することができた。また、環境学習講座や市広報・ホームページを通じた自然環境保護に対する意識啓発を継続実施しており、「自然環境を守る行動を行った市民の割合」は前年を下回ってはいるものの目標値を達成している。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	環境に配慮したまちづくりを行うことは、総合計画や環境基本計画においても課題として捉えられており、環境について学ぶ機会の提供に関して市が関与していくことは妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	環境マスター派遣制度を知らない市民が多いことから、広報活動等の充実により積極的な利用を働きかける余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	職員は当該事業を実施するための最低限の事務を行っていることから、人件費の削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	環境マスター派遣制度は全市民・団体を対象としており、また、環境教育推進事業についても市内小学生を対象としていることから、受益機会は均等であり公平・公正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
環境マスター派遣事業や環境学習講座、水生生物調査の実施により、市民や小学生が環境について学習する機会を提供し、市民の環境保全に対する意識の高揚を図ることができた。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	144270	環境学習推進事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		163	406		243
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	163	406		243

※特定財源の内訳

--

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています

事業開始の背景・経緯
地域における環境保全活動の活性化を図るとともに、環境に対する意識の高揚を図るため事業を開始した

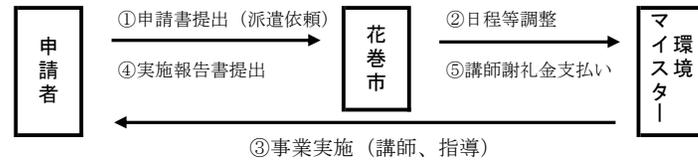
事業概要
 ○環境マスターの派遣 155千円
 花巻市環境マスターを委嘱（環境保全、緑化推進、廃棄物減量、自然環境の4分野）し、市民が自主的に行う環境学習会に講師として派遣
 ○環境学習講座の実施 28千円
 市民に環境について学んだり自然に触れあったりする機会を提供するため市が開催
 ○環境教育の実施 203千円
 水生生物調査の実施や環境学習用の教材提供（検査試薬、環境学習チャレンジブック）
 ○自然生物保護 20千円
 ゼニタナゴ保護活動に対する支援

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

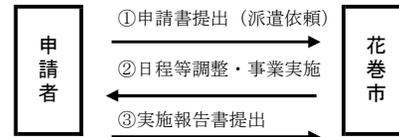
担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 大川 尚子 内線 255 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

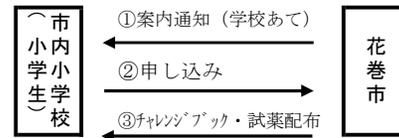
●環境マスター派遣事業



●水生生物調査



●環境学習チャレンジブック配布



【事業費内訳】

- ①環境マスター派遣事業 155千円(H29:102千円)
環境学習会等実施の際の講師として環境マスターを派遣（派遣回数30回）
- ②環境学習講座の開催 28千円(H29:21千円)
市民を対象に環境マスターによる「自然環境」に関する講座(4回)、「ごみ減量・リサイクル」に関する講座(1回)、「地球温暖化」に関する講座(1回)を開催
- ③環境教育推進事業 203千円(H29:23千円)
水生生物調査による河川等の水質調査の実施のほか、自主的に環境学習を行う小学生に対し環境チャレンジブック及び検査試薬を配布し、自然環境全般への理解を深める取り組みを支援
- ④自然生物保護 20千円(H29:17千円)
団体等が行う希少生物の保護活動を支援

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	07	144290	河原の坊施設管理事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	2	自然環境の保全			
目的	自然公園施設の適正な維持管理					
対象	早池峰国定公園の登山者					
意図	登山者の利便性を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○自然公園施設の維持管理 779千円 河原の坊総合休憩所（駐車場を含む）、早池峰山山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	河原の坊総合休憩所開館日数	日	計画	160	160	
			実績	160	160	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)									
成果指標を設定していないが、登山者の利便性を図るため、自然公園施設の利用者が常に快適な状態において、自然公園施設を利用できるように160日開館し、維持管理を行った。									
目的妥当性	<table border="1"> <tr> <td>公共関与の妥当性</td> <td>自然公園施設の維持管理については、行政が行う必要があり、県が自然公園施設を設置し、市が県からの委託により自然公園施設の維持管理を行っている。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 妥当である</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 妥当でない</td> <td></td> </tr> </table>	公共関与の妥当性	自然公園施設の維持管理については、行政が行う必要があり、県が自然公園施設を設置し、市が県からの委託により自然公園施設の維持管理を行っている。	<input type="radio"/> 妥当である		<input type="checkbox"/> 見直し余地がある		<input type="checkbox"/> 妥当でない	
公共関与の妥当性	自然公園施設の維持管理については、行政が行う必要があり、県が自然公園施設を設置し、市が県からの委託により自然公園施設の維持管理を行っている。								
<input type="radio"/> 妥当である									
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある									
<input type="checkbox"/> 妥当でない									
有効性	<table border="1"> <tr> <td>成果の向上余地</td> <td>自然公園施設の老朽化に伴い、計画的な修繕を行うことにより、自然公園施設の維持が可能となる。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 向上余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 向上余地がない</td> <td></td> </tr> </table>	成果の向上余地	自然公園施設の老朽化に伴い、計画的な修繕を行うことにより、自然公園施設の維持が可能となる。	<input type="radio"/> 向上余地がある		<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
成果の向上余地	自然公園施設の老朽化に伴い、計画的な修繕を行うことにより、自然公園施設の維持が可能となる。								
<input type="radio"/> 向上余地がある									
<input type="checkbox"/> 向上余地がない									
効率性	<table border="1"> <tr> <td>事業費・人件費の削減余地</td> <td>事業費は自然公園施設の維持管理であり、削減の余地はない。人件費については、委託事務と現地管理業務のため削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> どちらも削減余地がない</td> <td></td> </tr> </table>	事業費・人件費の削減余地	事業費は自然公園施設の維持管理であり、削減の余地はない。人件費については、委託事務と現地管理業務のため削減の余地はない。	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある		<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある		<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
事業費・人件費の削減余地	事業費は自然公園施設の維持管理であり、削減の余地はない。人件費については、委託事務と現地管理業務のため削減の余地はない。								
<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある									
<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある									
<input type="radio"/> どちらも削減余地がない									
公平性	<table border="1"> <tr> <td>受益と負担の適正化余地</td> <td>対象を特定しないで登山者の安全が図られるので、公平で適正である。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 適正である</td> <td></td> </tr> </table>	受益と負担の適正化余地	対象を特定しないで登山者の安全が図られるので、公平で適正である。	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある		<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある		<input type="radio"/> 適正である	
受益と負担の適正化余地	対象を特定しないで登山者の安全が図られるので、公平で適正である。								
<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある									
<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある									
<input type="radio"/> 適正である									
総合評価 …上記評価結果の総括									
早池峰国定公園内の管理施設は、広範囲に及んでいるが自然公園保護管理員との連絡を密にし、自然公園施設の適正な維持管理に努めている。 また、早池峰山山頂避難小屋の携帯トイレが通年化されたことにより、トイレの汲み取りはなくなった反面、すべての登山者に携帯トイレの使用について、理解を求める必要がある。									

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 黒 沼 寿 夫 内線 920-220

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	144290	河原の坊施設管理事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		869	779		△ 90
財 源 内 訳	国・県	758	766		8
	地方債				
	その他				
	一般財源	111	13		△ 98

※特定財源の内訳

15-03-03-01 自然公園管理 766千円 (自然公園施設管理業務委託：県と契約)

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

早池峰の豊かな自然環境の保全と活用に努めます。

事業開始の背景・経緯

県では岩手県自然公園施設等管理要領により、河原の坊総合休憩所と早池峰山山頂避難小屋については、花巻市へ委託し維持管理している。また、鶏頭山避難小屋とうすゆき山荘は旧大迫町が設置し、市が維持管理を行っている。

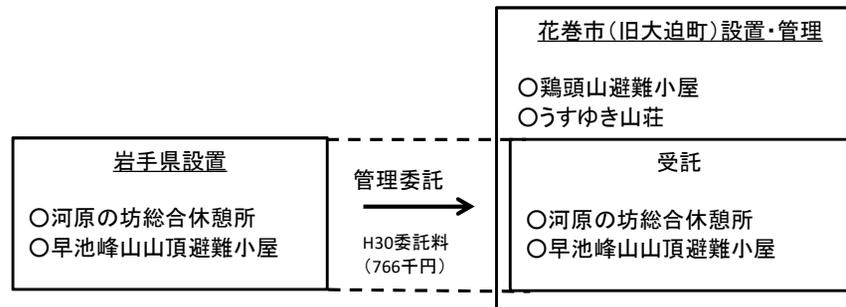
事業概要

○自然公園施設の維持管理 779千円
河原の坊総合休憩所（駐車場を含む）、早池峰山山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

早池峰山山頂避難小屋は耐用年数を経過し、長期的な維持管理に問題がある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【積算内訳】

11 需用費	345,177円	消耗品費	115,698円
		燃料費	217,167円
		修繕料	12,312円
12 役務費	86,064円	電話料	19,464円
		手数料	66,600円
13 委託料	344,300円	施設管理委託料	
14 使用料	3,000円	土地賃借料	
合計	778,541円		

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	07	144300	早池峰自然環境保全活動推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	2	自然環境の保全			
目的	早池峰国定公園地域の自然環境保全					
対象	早池峰国定公園地域の自然、登山者					
意図	早池峰国定公園地域の自然環境の保全を図るとともに、登山者の安全確保を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○自然公園保護管理員設置 3,135千円 早池峰地域に係る自然公園保護管理員設置（期間：5月～10月） 4人 ○早池峰国定公園地域協議会負担金 740千円 一般会計、特別会計に係る負担金（県・花巻市・遠野市・宮古市・岩手県交通） ○早池峰環境保全バス運行事業補助金 355千円 登山客のマイカー等の乗り入れを抑えて自然環境の保護を図るため、6月から9月までの第2土・日曜日、山の日、9月15日から17日までの三連休に1往復の運行。						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	自然公園保護管理員活動日数 (1人あたり)	日	計画	100	100	
			実績	100	100	
②	早池峰山登山者	人	計画	16,000	15,000	
			実績	14,490	13,687	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
成果指標を設定していないが、早池峰国定公園地域の自然環境の保全を図るとともに、登山者の安全確保を図るため、自然公園保護管理員1人あたり100日の活動を行い、県・市・関係機関や自然公園保護管理員による登山マナー向上の呼びかけや高山植物の盗採防止パトロール活動により自然環境の保全を図った。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない 自然公園の管理については、行政が行う必要があり、県は自然公園全体の管理、市は県からの委託により自然公園保護管理員を設置するなど、それぞれの業務を分担し対応している。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない 自然環境の保全は確保されているものの、初心者に対する携帯トイレの普及や登山道以外への侵入による高山植物の踏み付けなど、登山マナー向上については、向上の余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 事業費について、自然保護や登山者の事故防止の観点からも自然公園保護管理員の削減は難しい。人件費について、県・市・関係機関との調整及び現地管理業務のため、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 早池峰国定公園地域全体の自然環境の保全が図られるので、公平で適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括	
効率性の観点においては、広範囲な早池峰国定公園地域の管理を行う上で、これ以上の事業費の削減は難しいが、引き続き関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動により自然環境の保全に努めている。 また、早池峰山山頂避難小屋の携帯トイレが通年化され、すべての登山者に携帯トイレの使用について理解を求める必要があることや、高山植物の盗採跡が見られるなど、登山マナーの向上について登山者に呼びかけていく必要がある。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	144300	早池峰自然環境保全活動推進事業

単位：千円

	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	3,895	4,230		335
財 源 内 訳	国・県	1,562	1,565	3
	地方債	2,300	2,600	300
	その他			
	一般財源	33	65	32

※特定財源の内訳

15-03-04-01 自然公園管理	1,565千円 (自然公園保護管理員設置業務委託：県と観光課契約)
21-01-03-04 自然保護	2,600千円 (過疎対策事業費)

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

重点施策における目標
早池峰の豊かな自然環境の保全と活用に努めます。

事業開始の背景・経緯
県では、自然環境保全のため自然公園保護管理員を設置しているが、早池峰国定公園においては、花巻市・遠野市・宮古市へ委託し、自然保護管理員を設置している。また、平成21年度に早池峰国定公園地域協議会を設立し、共同で自然保護などの事業を推進している。

事業概要
○自然公園保護管理員設置 3,135千円
早池峰地域に係る自然公園保護管理員設置(期間：5月～10月) 4人
○早池峰国定公園地域協議会負担金 740千円
一般会計、特別会計に係る負担金(県・花巻市・遠野市・宮古市・岩手県交通)
○早池峰環境保全バス運行事業補助金 355千円
登山客のマイカー等の乗り入れを抑えて自然環境の保護を図るため、6月から9月までの第2土・日曜日、山の日、9月15日から17日までの三連休に1往復の運行。

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)
行政評価委員会より事業名の変更を提言いただき変更した。

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 黒沼寿夫 内線 920-220

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 【早池峰国定公園地域協議会】
一般会計事業：山開き、山頂清掃、高山植物盗採パトロール等
※構成団体：花巻市・遠野市・宮古市
特別会計事業：早池峰シャトルバス運行に係る交通規制周知
※構成団体：花巻市・遠野市・宮古市・岩手県・岩手県交通
- 【事業費】
○自然公園保護管理員設置 3,135千円(H29 2,744千円)
管理員：4名
業務内容：巡回、高山植物等の保護、定点観測、河原の坊総合休憩所管理等
○早池峰国定公園地域協議会負担金 740千円(H29 740千円)
協議会事業内容：誘致宣伝、環境美化対策、観光客受入対策、自然保護対策等
○早池峰環境保全バス運行事業補助金 355千円(H29 411千円)
H26～H28試験運行(時限実施) → 6～9月の第2土・日曜日(1往復・延べ8便)
H29～H31試験運行(時限実施) → 6～9月の第2土・日曜日、山の日、
9月の第3三連休(1往復・延べ12便)
H30(1往復・延べ11便)運行経費 666千円 - 運賃収入 311千円 = 355千円
H30乗車実績 228人

	運行費用			運賃収入			補助金 (①-②)
	運行単価	運行日数	計(①)	往復運賃	利用者数	計(②)	
H26～H28	64,530	8	516,240	3,000	71	150,840	365,400
H29要求	70,200	12	842,400	3,600	120	432,000	410,400
H29実績	60,480	12	725,760	3,000	224	315,250	410,510
H30要求	70,200	11	772,200	3,000	205	288,970	483,230
H30実績	60,480	11	665,280	3,000	228	310,700	354,580